

日本工学院専門学校		開講年度	2020年度		科目名	高度資格対策 2	
科目基礎情報							
開設学科	建築学科		コース名			開設期	前期
対象年次	4年次		科目区分	必修		時間数	30時間
単位数	2単位					授業形態	講義
教科書/教材	2級建築施工管理技士学科テキスト(2020年度)、2級建築施工管理技術検定過去6回試験問題						
担当教員情報							
担当教員	赤石 辰夫・大澤 公仁			実務経験の有無・職種		有・工事管理	
学習目的							
この科目では、建設施工者の国家資格である2級建築施工管理技士試験のうち、学科の分野について演習を中心に学習を行い、本年度の試験で合格することを目的とする。そのためには、試験問題を建築構造分野・施工分野・管理分野などで工事技術の項目を、建築計画分野・各種法規分野などで建築知識や法律tr規制現などに分けて講義を行い、小テストを行うことによって理解の到達度を確認して弱点の強化を図る。							
到達目標							
2級建築施工管理技士試験と同等レベルの問題について70%以上の正解率を上げられることを目標とし、それと同等の知識の修得を目指す。そのためには、過去10年以上の試験問題について精査し幅広い内容の中から定番となる問題を中心に理解し、余裕のある項目については各自が判断して難問にも挑戦し高得点につながるようにレベルアップを図る。また、四択問題の形式に慣れて試験時間の配分なども考慮して受験するテクニックも身に付ける。							
教育方法等							
授業概要	教科書を用いた講義により通常授業で学んだことから試験問題のポイントについて学び直す。また、過去問題を用いた演習と解説を行うことで、2級建築施工管理技士同等の実践的知識の習得を行う。同時に模擬試験を行い、実践力を養う。						
注意点	これまで一般構造・建築材料・建築生産・計画・環境工学・法規などとして別れて学んだことを、建築の総合的な知識として学び直すこと。過去6回分の問題集は主に自宅学習で繰り返し解き、模擬試験で十力を確認すること。また、夏期休暇中には復習を怠らないこと。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	60%	試験と課題を総合的に評価する				
	小テスト	30%	授業内容の理解度を確認するために実施する				
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容		各回の到達目標				
1回	地盤・基礎構造、木構造		地盤と基礎形式、在来軸組み工法、木材の接合方法などの理解				
2回	RC構造、S構造		鉄筋の役割、鉄骨の接合などの理解				
3回	換気、伝熱・結露		自然換気と機械換気、伝熱と断熱、結露の防止などの理解				
4回	構造力学		反力・トラスの求め方、応力図などの理解				
5回	日照・日射		建築の日蔭、直達日射と天空日射などの理解				
6回	荷重・外力		構造設計における荷重などの理解				
7回	採光・照明、音響		昼光の照度、採光、照明方式などの理解				
8回	建築材料		躯体材料と仕上げ材料などの理解				
9回	総合演習		実力確認、受験申し込み手続きの解説				
10回	音響、色彩		音の性質と単位、遮音と吸音、色彩の効果などの理解				
11回	仮設工事、土工事、基礎工事		建築測量・仮囲い・足場、根切り・排水・山留、砂利地業・杭工事などの理解				
12回	建築基準法、建設業法		用語の規定、建設業の許可、請負契約などの理解				
13回	RC造工事、S造工事		型枠工事、鉄筋工事、コンクリート工事などの理解				
14回	模擬試験		建設業法の補足、実力確認				
15回	総合演習		模擬試験結果				